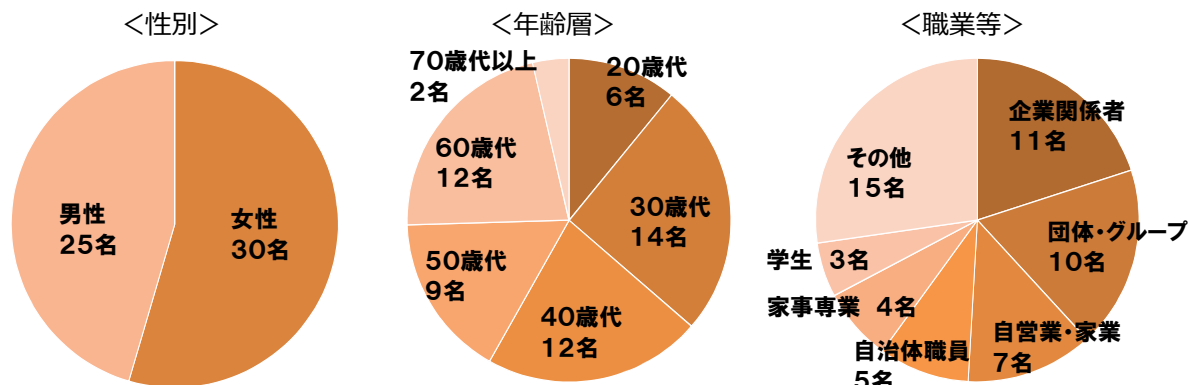


◆しが未来カフェ

- 日時：平成27年5月17日（日） 13:30～16:30 場所：県立男女共同参画センター
- ワールド・カフェという手法を用いて、男性も女性も暮らしやすい滋賀に向けた意見交換を実施。
- 20歳代から70歳代まで、学生、自営業、企業関係、自治体職員、家事専業など、幅広い層の県民が参加（参加人数 54名）

※参加者内訳（申込時点）



(内容)

- ミニ講義
講師：萩原なつ子（立教大学社会学部教授）
- ワールド・カフェ
ファシリテーター：古瀬正也（古瀬ワークショップデザイン事務所代表）

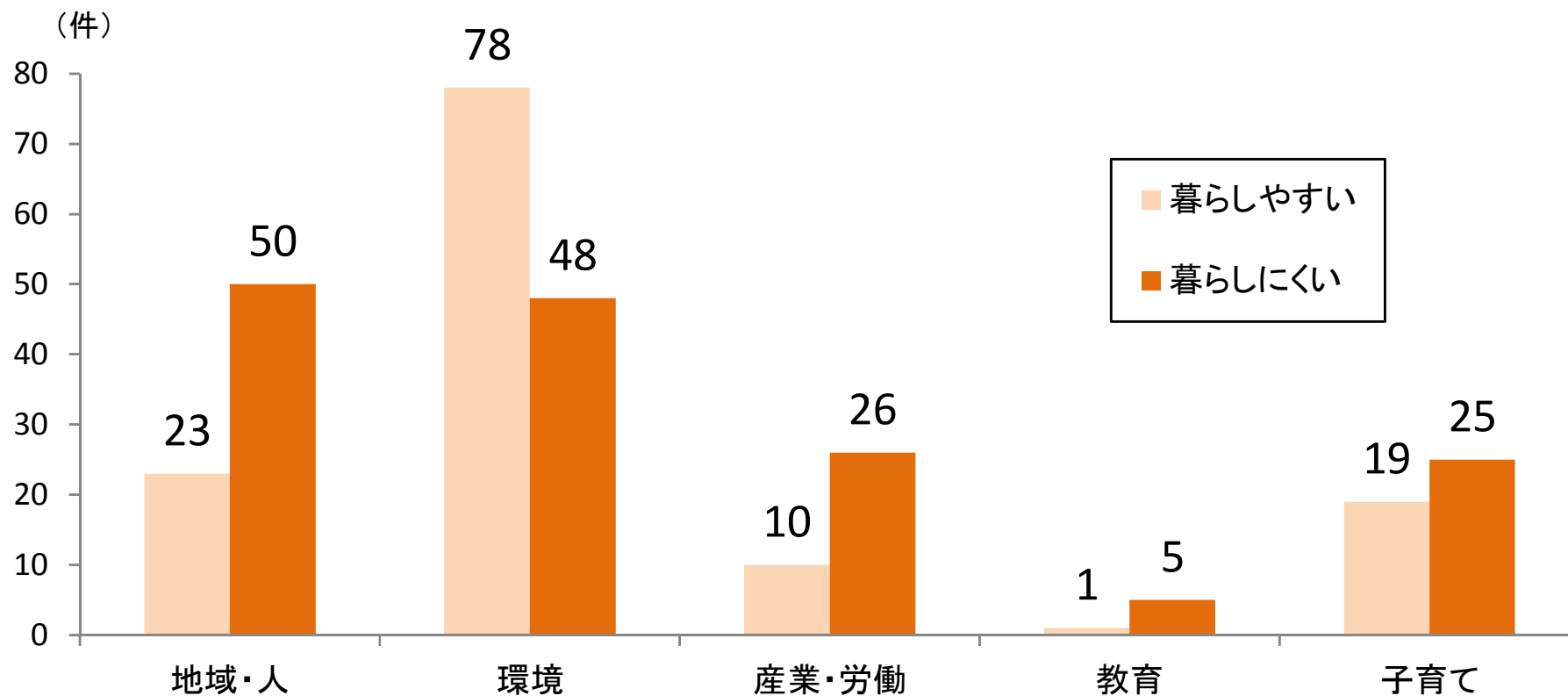


◆しが未来カフェ

滋賀は、男性にとっても、女性にとっても、暮らしやすいと思いますか。

暮らしやすい 131件

暮らしにくい 154件



◆しが未来カフェ

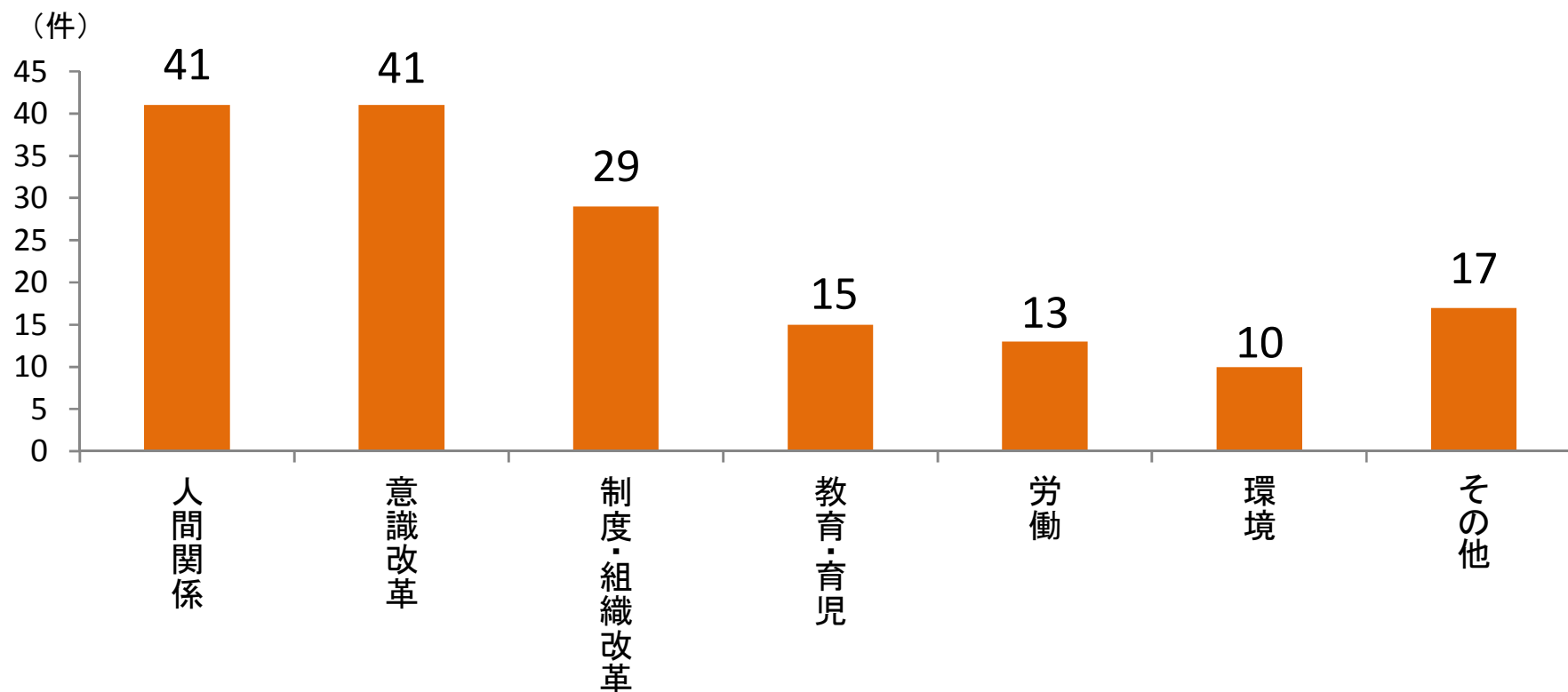
滋賀は、男性にとっても、女性にとっても、暮らしやすいと思いますか。

	暮らしやすい	暮らしにくい
地域・人	<ul style="list-style-type: none">・地域性があり、地域のつながりを感じる・親のサポートが受けやすい・男性が女性に対して理解する姿勢をもっている	<ul style="list-style-type: none">・男性が地域の役員をするのが当たり前・男性でないといけない行事がある・昔ながらの慣習が多い、昔の因習は根強い・女性が活発だと、特別視される
環境	<ul style="list-style-type: none">・交通が便利（京都、大阪へ行きやすい）・自然環境は素晴らしい・災害が少ない	<ul style="list-style-type: none">・車がないと不便・空き家が増えてきた・バスの本数が少ない地域がある・高齢になり、遠くに行くのに困ることが多い
産業・労働	<ul style="list-style-type: none">・働く姿が一次産業から六次産業まである・女性でも活躍している人は多い・大企業多い	<ul style="list-style-type: none">・男女の賃金格差がある・遠距離通勤で、男性が仕事に時間をとられる・企業トップの考え方が男性優位・女性の管理職が少ない
教育	<ul style="list-style-type: none">・学校が多い	<ul style="list-style-type: none">・大学院へ行く女性が少ない
子育て	<ul style="list-style-type: none">・自然に恵まれていて、子育て環境はよい・子育て支援サービスが充実している・子育て支援に対して積極的に人が多い	<ul style="list-style-type: none">・育児は女性が、という意識がある・保育所が少ない・育児休暇の理解度が低い

◆しが未来カフェ

男性にとっても、女性にとっても、暮らしやすい滋賀に向けて、何が必要か。

合計 **166** 件



◆しが未来カフェ

男性にとっても、女性にとっても、暮らしやすい滋賀に向けて、何が必要か。

	必要なもの
人間関係	各地域でもっと意見が言い合える場をつくる / 世代間交流の場 / ちょっとした困りごとでも気楽に相談できる人間関係づくり 相互理解、家庭内でも社会においてもお互いが相手を理解し、協力する / 多様な人と話す機会 地域や身近なところで、悩み相談やおしゃべりを楽に取れるコミュニティカフェを / おせっかいな地域社会
意識改革	常識だと思い込んでいることに疑問符をつけてみる / 個人のキャリアデザイン / 性別に関係なく適材適所 常に変化を恐れなくて行動してみる / 自分から行動する / 一人ひとりが20～30年後の将来と向き合う 男だから女だからではなく、人として / 男女共同参画の土台として人権意識を高める / 女性が「女性」に甘えないこと
制度・組織改革	個と全体と、両方からのギアチェンジが大事 / 話し合い、調整するコーディネーター、ルールづくり / 現状にあわせた制度づくり 行政が率先して情報収集、検討、実行する。斬新な事業を / 政策決定の場に女性を / 市民（県民）の意見の反映 自治会の女性役員登用を行政がもっと後押ししないと進まない / 地域役員にやはり女性を増やすべき
環境	誰でもどこでも行きやすい街（公共交通） / 休日に家族が集える場 / 多様性を受け入れる風土づくり インフラの充実 / 県内格差・地域により大きく違う /
労働	琵琶湖を始めとする自然環境と経済が連携できる / ワーク・ライフ・バランス（働き方の見直し） 男性の仕事量・仕事に割く時間が多い→改善すべき / 職場での育休・産休を気楽に取れる雰囲気づくりが必要→意識改善 男女、正規非正規の別なく同一労働同一賃金にすること / 女性の就労環境を整えることと、男性の生活の質を上げる施策
教育・育児	子育て環境を整える。産婦人科医を増やすなど / 子育ての魅力を伝える人 / 男女共同参画の教育 施設の連携、年寄り子どもと別々にするのではなく、ともに過ごせる場にしていく / ママ、働いていない人への教育 育休の制度だけでなく、復帰できる対策。育休をとっても子どもを保育園に入れられず復帰できない
その他	滋賀の特産品が全国に知られるようになれば / 未来の滋賀の姿 / 若い力 / 多くの実例とその広がり